

普及現地情報



発信年月日：令和6年（2024年）3月28日
所属名：高島農業農村振興事務所農産普及課
番号：H23024
部門分類：160（果樹）
発信者名：山下

令和6年産「高島いちじく」に向けて

3月22日に高島市勝野のいちじく栽培ほ場において、JAレーク滋賀安曇川営農経済センター主催で「高島いちじく剪定研修会」が開催され、あいにくの空模様でしたが生産者および関係者あわせて7名の参加がありました。研修会では、ほ場を見ながら活発な質疑・意見交換がなされ、令和6年産に向けて決意を新たにされました。

高島市内のいちじく栽培は関係機関連携のもと、新規栽培者の発掘や既存園のリフレッシュ剪定による主枝更新・樹勢回復に向けた施肥の実施により、現在約1.7haまで面積が回復しています。しかし、既存園では古いところで15年近く経っていることから、樹勢の低下も散見されています。

また、JAに集荷されるものだけが「高島いちじく」として、市場および生協に出荷されています。「高島いちじく」の市場評価は、生産努力と検品により年々高まっており、販売単価もそれに伴い上昇していますが、令和4年産は約4.2だった出荷量が、令和5年産は萌芽の遅れなどにより、約2.9tと落ち込みました。

そこで今回の研修会では、当課より剪定等の基本的な技術に加えて、他産地の施肥事例とともに樹勢維持・回復のための基肥・追肥の施肥設計について説明し、自身の園の樹勢と施肥量について考えていただく機会としました。

今後も関係機関と連携しながら、高品質な果実生産を支援するとともに、各研修会の開催支援などを通じて、産地復活に向けた活動を支援していきます。



次年度の生産に向け説明する当課担当